

れい わ ねん どだい かい いんざいしこくさいかすいしんこんだんかい かいぎろく
令和7年度第2回 印西市国際化推進懇談会 会議録

にちじ 日時	れい わ ねん がつ にち すい ご ぶ じ ぶん 令和8年1月21日（水）午後2時00分から3時00分
ばしょ 場所	いんざいしやくしょ かいぎしつ 印西市役所 204会議室
しゅつせきしゃ 出席者	ししどまことかいちよう ぎちよう 矢戸 真 会長（議長） かわ き たつねひろいいん とみた た み こいいん わたなべしんいいん 川喜田英博委員、富田多美子委員、渡邊信委員、マクドエル デービット ジョン 委員、髭野芳英委員、田所美香委員、日高理映子委員、張 京 玲委員、ラビンドラ デイ委員、齋藤 マリア ジェシカ委員 （計11名）
けつせきしゃ 欠席者	はる た み か おいいん わたなべ えレーナいいん チュ ティ ロアン オアインいいん （計3名） 治田三夏男委員、渡辺 エレーナ委員、チュ ティ ロアン オアイン委員
じむきよく 事務局	きかくせいさくか むとう ふじしろ やまざき やぐち 企画政策課 武藤、藤代、山崎、矢口
ぼうちようしゃ 傍聴者	めい 0名

ない よう
内 容

- （1）がいこくじんいりよう かん ぎだい
外国人医療に関する議題について
- テーマ1：いりようきかんりよう じ こま
医療機関利用時の困りごと
- テーマ2：じょうほうはっしん しえん
情報発信や支援
- テーマ3：ちいき しみん やくわり
地域や市民の役割

ぎじろく ようてんひつき
議事録（要点筆記）

- （1）がいこくじんいりよう かん ぎだい
外国人医療に関する議題について
- じむきよく （しりよう もと がいこくじんいりよう かん かだい せつめい）
事務局 【資料1に基づき、「外国人医療に関する課題」について説明】
- い か いけんこうかんおよ しつぎおうとう
【以下、意見交換及び質疑応答】

テーマ1について：いりようきかんりよう じ こま
医療機関利用時の困りごとについて

ぎ ちよう がいこくじんいいん いけん うかが
議長 まず外国人委員から意見を伺う。

委員長 以前に住んでいた市ではこのような懇談会がなかった。印西市がこの様な場を設け、取り組んでくれることに感謝している。特に困ったことはない。
日本に来たときは大きな声を出してはいけない、人に迷惑を掛けてはいけないなど、日本の文化になじみがなかった。地域の外国人からの声として、道路の雑草の繁茂、自転車の通行などが危険。概ね満足している。
言葉が分からなくても、みんな優しいから病院に行けば、何とかなる。
日本人の優しさを利用している人もいる。医療費の未払い。実際には困っていなくても困ったふりをしている人もいる。

委員長 10年前困ったことは日本の礼儀がわからなかった。日本人の夫と結婚しているため男の子の言葉遣いしか覚えていなかったなので周囲から性格がきついイメージを持たれていた。当時は病院で言っていることがわからなかった。調べながら伝えただけ通じないし困っていた。
印西市に来たばかりの外国人は言語で困っている人も多いのではないかなと思う。

委員長 私は今通訳をやっているが、困っているのは高齢の人だと思う。若い人は問題ない。高齢の人は、医療専門用語を上手く伝えられない。痛いという表現もいろいろあるけど上手く伝えられない。大きな病院には通訳がいるので、受付で申告すれば対応してくれるのではないかな。

議長 北総病院の通訳の情報は持っているか。

事務局 英語、中国語など話者が多い言語は対応できる。

委員長 風邪やインフルエンザなどは問題ないと思う。
歯医者や手術・入院が必要な場合は、専門用語が理解できないこともあるのではないかなと思う。今はスマホで調べることもできるし用語を調べることも不可能ではないと思う。
大きな病院は問題ないかもしれないけど、小さなクリニックに行くときは勇気がいるかもしれない。大きな病院にはシャトルバスがあったりする。送迎サービスがあると駅から遠い小さなクリニックでも行きやすい。医者が勧めたことも、しなければいけないのか、またはしなくていいのか、大変なことになるのか、よくわからず困っているという意見も聞いたことがある。

議長 つづいて外国人と関わりのある団体から意見を伺う。

委員

月に1度外国人保護者を対象にグリーンカフェを実施。保護者同士で集まってもらい情報交換を行ってもらおう。その中で医療の問題については、医療情報をまとめた方がいいのではないかと意見が出ている。どの病院に外国語が分かる先生がいるかが非常に重要。保護者たちが行くことが多い病院は小さなクリニックであり、各々の体験談をもとに情報を集約させ時間をかけて冊子を作ろうとしている。

情報伝達において、市からも病院のリスト等発信はしていると思う。情報収集が得意な保護者もいるが、一般になかなか情報が行き届いていない。出ている情報を拾いに行くことが難しい。アクセスしやすい環境づくりが必要ではないか。

委員

似たような意見だが、引っ越してきたばかりの外国人で日本語のわからないお母さんが、子どもが熱を出した時に病院がわからず悩んでいた。近くに受診できるクリニックはあるけどわからなかった。市ホームページを見ると病院の一覧があり医療機関の項目も英語・中国語・韓国語とあるのはわかっている。しかし添付ファイルを開くと全部日本語で書かれている。情報にたどり着いても、自分の見たい言語で書かれていない。

テーマ2について：情報発信や支援

委員

ホームページに持ち物を簡単に載せる。保険証orマイナンバーカード、お薬手帳（持っていれば）、現金、キャッシュカードなど載せてみてはどうか。また日本の病院のダメなところは、初診で予約がとれないところ。具合が悪く病院に行っても時間も待たされる、言葉もわからない、不安だと思う。市から予約制を導入するよう促すなど働きかけをしてはどうか。

英語の問診票をWEBに公開し記入して持っていく。英語が分からないならば翻訳アプリで調べてもらう。得意な言語に合わせにいくのは大変なこと。英語で基本的なことは書いてもらう。あとは病院の流れ（受付→待合室→診察→待合室→会計→処方箋→薬局→薬をもらう）をシンプルにWEBに公開するのがいいのではないか。

議長

最近では漫画で流れを紹介したりもしているので、そういうのも踏まえてホームページを工夫されてはどうか。

委員

グリーンカフェの活動当初は各学校に保護者同士の繋がりを作っていこうとした。スクリーンで案内してもあまり集まらない。対象を広げたが（子どもの年齢、住んでいる地域）それでも少数。

人的ネットワークが一番強い。教育委員会にも協力してもらって外国にルーツを持つ人が集まれる場を作っていきたい。

委員長 外国にルーツを持つ人だけでなく、その中に日本人の保護者も加わり、お互いの理解が進んでいくとよい。

議長 最近では、町内会の人だけが加入できるアプリがある。アプリを使用し情報交換などのやり方もあるのでは。

委員長 言語の壁というところで、伝えたかったことが上手く伝わらず、考えていたことと違ったりすると凄く怖いこと。タッチパネルでの案内（言語を選択→症状を選択→場所の案内）などがあるといいのかなと思う。

議長 制度の変更によって変わったこと。保険証がマイナンバーカードになったなど、持ち物も複雑化している。制度変更の情報提供もきちんと必要。

委員長 マイナンバーカードの使い方がわかりにくい。漢字はわからない。市内で機器の統一化ができないか。病院によって使う機器が違う。

委員長 子育て支援を行うファミリーサポートセンターで「外国人が病院に行くときに（有料で）ついてきてくれる人」がいるとよい。語学力は求めない。ついてきてくれるだけで解決できることはたくさんある。

議長 市でそのようなサービスを行っていたりするか。

事務局 現状ではそのようなサービスはない。

委員長 そもそもそのサービスがあることをどれくらいの外国人が知っているか。それをどう周知していくのか、ということがより重要ではないか。

テーマ3について：地域や市民の役割

委員長 国際交流協会として有償のボランティア通訳を行っている。申出があれば協力したい。

委員長 日本人であれば予測できることでも外国人は不安に感じる。それを解消できるサポートがあると良いと思う。

議長 「外国籍がボランティアで別の外国籍の方を助ける」制度を市が提供できるか。

事務局 登録制度は設けていないが、協力したいなどの申出があれば、連絡先を控えている。

議長 そういった方が増えれば登録制度と言ったものが作れるのかもしれない。

委員 災害時の外国人ボランティア制度を団体で設けているが、災害時に関わらずにボランティア制度があると良い。

事務局 今回の意見について、市役所内部や千葉北総病院とも共有をさせていただく。

令和8年1月21日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和8年1月29日

髭野 芳英